

こんにちは。2階地域包括ケア病棟の新人看護師です。

最近、朝晩は冷えてきましたね。あっという間に雪が降ってきそうです。10月となり入職して早半年となりました。4月に初めてむつ総合病院に入職し、これから看護師として働いていくことに希望をもちつつ、右も左も分からずドキドキしながら病棟に配属されたことを思い出します。

まだまだ経験と知識不足で不安な気持ちがありますが、先輩看護師のアドバイスや背中を見ながら試行錯誤しながら業務に励んでいます。



看護師として働くにあたって毎日勉強の日々だと感じます。写真のように定期的に様々な研修を受けたり、病棟で様々な疾患の患者さんの病態・治療・薬剤・看護ケアについて学んだりし、経験や知識として身につけています。今はそれがやりがいとなっています。それでもまだまだ経験の浅さや知識不足があるため、もっとたくさんの経験をし、自己学習し知識をつけていかなければならないと痛感しました。

私が勤務している2階病棟は地域包括ケア病棟です。地域包括ケア病棟とは、急性期治療を経過し、病状が安定した患者さんに対して、医師、看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカーなどが協力し在宅復帰や介護施設等への入所へと向けた医療や支援を行う病棟です。地域包括ケアシステムの背景には、今後の日本の超高齢化社会の問題があります。高齢者が増え、在宅で暮らしていくためにも必要なシステムだと考えます。在宅復帰を支援する病棟のスタッフとして、患者さんの疾患だけではなく、その患者さんがこれまでにどのような生活をしてきたかを知り、退院するにあたって元の生活レベルで生活可能なのかをアセスメントし、どこにどうやって退院されるのか見越してケアやリハビリを行うことが大切だと考えるため、疾患や看護の学習だけではなく、社会資源の学習もしていかなければならないと感じ、これからもっと精進して参りたいと思います。